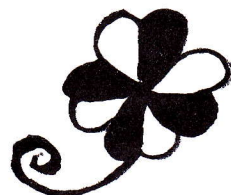


原発は人類と共存できません

東日本大震災での福島第1原子力発電所の事故は、日本はもちろん世界中に、放射能への不安が広がっています。

福島原発事故が、今どうなっているのかその実態はよく知らされていません。もちろん、徹底究明もされていません。それなのに、野田首相は原発事故の「終息宣言」を早々に行い、原発の再稼働を「1日も早く認可したい」との思いを強めています。また、原発の輸出を認めているのです。「地震立国に原発はいらない」「子どもと未来を守るために原発をなくそう」との声が全国各地で広まり、裁判でたたかうところまで来ています。

原発の恐ろしさがよくわかる



講演会のおさそい

演題 「フクシマの真実・内部被爆」

講師 東京電力を辞職して、命を守る医者への道へ

熊本市 小野・後来田医院

小野俊一先生

とき 5月13日(日) 午後2時～午後4時

ところ 人吉東西コミセン (第1・2会議室)

資料代 1人 500円



主催 "なくそう原発" 人吉球磨の会 ・連絡先 24-3502 宮村 宏

なくそう原発

人吉・球磨の会だより


2012・4・7発行 No 3

連絡先 (0966)24-3502

原発の危険性がよくわかる

5・13(日)の講演会ごあんない!!

再稼働ストップめざす 裁判の原告団にあなたも!!

とき **5月13日(日)** 
午後2時～午後4時

ところ **人吉東西コミセン 第1・2会議室**

演題 **「フクシマの真実と内部被爆」**


講師 **小野俊一先生**
熊本市の小野・出来田医院の
東電勤務を辞職、その後病院の先生の道へ

主催 **「なくそう原発」人吉球磨の会** 資料代500円

連絡先 24-3502 事務局 宮村宏

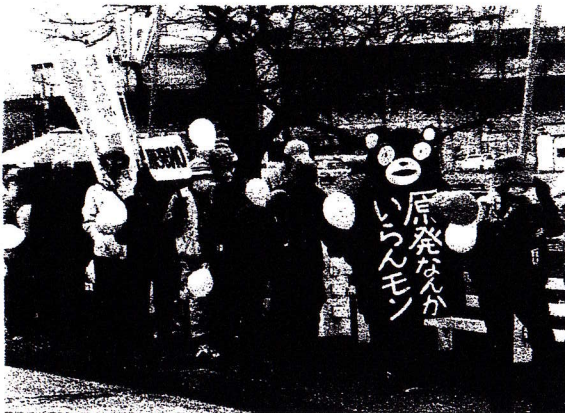
原発ゼロをアピール

人吉で3・11集会とデモ



「なくそう原発」人吉球磨の会は東日本大震災と原発事故から一周年にあたる三月十一日に、人吉城内で全国のメモリアルアクションにちやうへて「原発いらぬ」の一点で結びついた郡市民七五名が集まって、「原発ゼロ」のアピール集会と行進を行いました。

集会では「先の戦争では、なぜ当時の大人は戦争を止めなかつたのかと我々は思った。今度は我々大人が子どもや孫たちから同じように非難されぬよう原発廃止に向け行動しよう」と代表の鶴上さんがあいさつ。「原発との共存はあり得ない」「電力会社のCMに乗せられ、安全神話を信じ込んでいたことを反省したい」など、七名の発言後、集会宣言を採択して「原発なんかいらんモン」(下の写真)とともに、風船をもって原発の恐怖と廃止を大きな声で呼び掛けて寒い中、市内を行進しました。



日々、ニュースで原発の再稼働について、野田首相の「容認の発言」を繰り返して報道しています。

また、東電の原発事故の究明も進んでいないし、安全基準の見直しもきちんとしていません。「原発はいらぬ」といった国民の声に野田首相はいっさい耳をかきません。

地震立国の日本ではもちろん、人類と共存できない原発は一日も早く廃棄して、再生可能な自然エネルギーへの転換をめざすことが世界の環境を守っていく上でも必要です。

人吉球磨は九州の玄海原発と川内原発の二つの原発の影響を直接受けることになるので、国と九州電力を相手に「原発の再稼働差止め」の裁判を起こすことにしました。一人でも多くのおみなさんが原告団の一員となつて、「原発ゼロ」をめざして闘いましょう。

これからもみなさんのご支援よろしくお願ひいたします。